

## 市政モニターアンケート(平成21年度3回目:下水道課)

[調査期間]平成21年10月1日(木)～10月15日(木)

[調査対象]平成21・22年度市政モニター99人

[調査方法]郵便・FAX・電子メールを通じてアンケートに回答

[回答者数]89人

### 【調査テーマ】生活排水処理施設整備構想等について

#### A 【基本属性】

##### 1) あなたの年齢を選んでください。

19歳以下	0%
20～29歳	5%
30～39歳	20%
40～49歳	11%
50～59歳	9%
60～69歳	28%
70歳以上	27%

##### 2) あなたの性別を選んでください。

男	45%
女	55%

##### 3) あなたの職業を選んでください。

会社員・団体職員など(常勤)	18%
パート・アルバイト(非常勤)	9%
農林水産業	0%
商工その他自営業	7%
主婦	23%
学生	4%
無職	30%
その他( )	9%

##### 4) あなたは現在の場所にどのくらいお住まいですか。

1年未満	5%
1年～5年	18%
5年～10年	14%
10年～20年	43%
生まれてからずっと	20%

#### B 生活排水処理施設整備構想について

##### 【調査目的】

少子高齢化等の地域社会構造の変化に対応した適切な排水処理計画を策定するため、別府市を含めた大分県全体における生活排水処理施設(公共下水道、合併浄化槽等)の今後の整備計画について、見直しを行っています。

現在、別府市における生活排水処理施設計画の原案を作成しましたので、市民の皆様のお考えや要望をお聞きし、住民意向の把握を目的としてアンケートを実施します。

##### 1) あなたは下水道や下水処理について、関心がありますか。(1つ選んでください)

関心がある	49%
まあ関心がある	24%
あまり関心がない	24%
全く関心がない	3%

- 2) あなたのお住まいは公共下水道の汚水管が整備され、公共下水道に接続されていますか。(1つ選んでください)
- |                   |     |
|-------------------|-----|
| 整備され、接続している       | 45% |
| 整備されているが、接続はしていない | 13% |
| 整備されてなく、合併浄化槽である  | 5%  |
| 整備されてなく、単独浄化槽である  | 24% |
| 整備されてなく、汲取り便所である  | 2%  |
| わからない             | 11% |
- 3) 公共下水道はお住まいの地域に必要と考えていますか。
- |                       |     |
|-----------------------|-----|
| 必要と考えている              | 77% |
| 現時点では必要ないが、将来的には必要である | 8%  |
| 浄化槽で対応できるので必要ない       | 6%  |
| わからない                 | 9%  |
- 4) 公共下水道施設は、何が最も有効と考えますか。
- |                          |     |
|--------------------------|-----|
| 浄化槽より維持管理が容易である          | 11% |
| 用地の有効利用が図れる              | 1%  |
| 悪臭がなくなる                  | 9%  |
| 側溝などに流れなくなり、周辺の環境整備につながる | 15% |
| 公衆衛生の向上につながる             | 22% |
| 都市の健全な発達に不可欠             | 12% |
| 川や海の水質保全に役立つ             | 30% |
- 5) 下水道等の道路での公共工事は、騒音及び通行規制等のさけられないご迷惑をおかけする場合がありますが、工事についての考えを1つ選んでください。
- |                 |     |
|-----------------|-----|
| 工事を積極的に容認する     | 34% |
| やむをえないと容認する     | 58% |
| 迷惑のかかる工事は、容認しない | 2%  |
| その他             | 6%  |

構想において、別府市の公共下水道での整備計画区域は、人口の集中度、経済比較等を行った結果、別図のとおり現時点での計画と同じく、将来的にはほぼ現在の市街化区域を公共下水道の全体計画区域として整備する原案を作成しました。

- 1) 将来的な公共下水道での全体整備計画区域は、別図のとおりで良いかお聞きします。
- |           |     |
|-----------|-----|
| 別図の原案で良い  | 41% |
| 別図の原案では悪い | 8%  |
| わからない     | 51% |

平成20年度末で別府市の公共下水道普及率は61.5%となっていますが、公共下水道事業の整備には多額の事業費と長い年月を要し、本構想の生活排水処理施設の設定年度の平成41年度末までには、現認可区域をほぼ整備する整備計画スケジュール原案としております。

- 1) 整備計画のスケジュール原案についてお聞きします。
- |        |     |
|--------|-----|
| 原案でよい  | 38% |
| 原案では悪い | 6%  |
| わからない  | 56% |

C 下水道全般について

### 【下水道について】

- 1) 公共下水道污水管に接続すると、浄化槽が不要になることをご存じですか。

知っている	75%
知らない	25%
  
- 2) 公共下水道污水管に「雨水」は流せないということをご存じですか。

知っている	51%
知らない	49%

### 【終末処理場について】

- 1) あなたは終末処理場「別府市中央浄化センター」がどこにあるか知っていますか。（1つ選んでください）

名前も場所も知っている	58%
名前は知っているがどこにあるかは知らない	19%
名前は知らないが、場所は知っている	7%
名前も場所も知らない	16%
  
- 2) あなたは、終末処理場を見学したことがありますか

見学したことがある	30%
見学したことはない	70%
  
- 3) 前問で を選んだ方におたずねします。終末処理場で生活排水が処理されるしくみを見学したいと思いませんか。

是非、見学したい	21%
機会があれば、見学したい	47%
見学したくない	32%
  
- 4) 処理場で発生した下水道汚泥を、コンポスト（堆肥化）として再資源化していることをご存じですか。

知っている	43%
知らない	57%

### 【PR活動について】

- 1) 毎年9月10日は「下水道の日」ですが、関連行事として相談コーナーを市役所内に開設したり、啓発グッズを配布していることを知っていますか。

知っている	26%
知らない	74%
  
- 2) 前問で「知っている」を選んだ方におたずねします。そのことはどこで知りましたか。

市報「べっぷ」9月号	95%
ケーブルテレビ	9%
市役所のホームページ	9%
その他	8%
  
- 3) 下水道のPRについて、今後どのようなことに取り組んだ方が良いと考えますか。（1つ選んでください）

今のPR方法で良い	6%
ホームページを充実させる	11%
「下水道の日」に街頭（まちなかや駅前等）で啓発活動を行う	28%
「中央浄化センター」の見学会を定期的に行う	48%
その他	7%

## (実施課：下水道課より)

生活排水処理施設整備構想等につきまして、モニターの方々にご回答いただきまして誠に有り難うございました。

下水道の整備は、下水道法第4条に定められた事業計画の認可に基づき進められています。別府市の下水道全体計画の範囲は、計画的に市街化を図るべき区域、都市施設の整備や市街地開発事業等を積極的に実施していく区域として、都市計画法に基づき設定した市街化区域に該当する地域を定めています。

認可区域につきましては、昭和35年に認可を受けて以来、事業の進捗に合わせて計画の見直しを行ってきました。現在の区域は、亀川の終末処理場の建設に伴って区域を設定し、別府市の中でも人口が集中している海側について、主に事業の効率化を図れる区域を設定しています。

別府市の公共下水道の整備状況は、平成20年度末現在で普及率61.5%、整備面積1,193haとなっています。これは、大分県の平均普及率43.8%を大きく上まわっていますが、図面で示したとおり、認可区域内でも未整備箇所が転々とあるのが現状です。これは、整備時の交通事情や財政面、地元の協力、建築建物等の有無などが要因と思われます。下水道の未整備箇所を整備するには多大な事業費と年月がかかり、一度供用を開始(下水道管に汚水が流れ出す)すると永久的に維持管理が必要になります。別府市としても下水道の投資効率の良い箇所(人口密度の高い地区)から整備を行い、道路整備や排水対策事業、水道管やガス管等のインフラ整備との絡みや、別府特有の地形的な問題を考慮して、安価な通常工法で施工できる箇所等の理由から整備順位を策定しています。下水道工事には道路の規制が必要になります。一箇所に工事を集中させると迂回路が確保できなくなり、周囲の生活環境に多大な迷惑をかけることから工事箇所を分散し、現場の状況に応じた計画で整備を進めています。

下水道工事は道路を掘削し、できあがりマンホールが表面に現れるだけで土木工事の中でも地味な工事とされています。

しかし、下水道は家庭の台所、水洗トイレ、風呂や工場、事業所から出る汚れた水を排水設備から道路に埋設された下水道管に流して処理場に集め、きれいにして海に放流し、水環境に大きく貢献しています。

下水道の役割として、

生活環境の改善：トイレ、台所等の汚水を速やかに排除することで、快適で衛生的な生活環境が保てる。

公共用水域の水質保全：川や海などの水質保全。

浸水対策：水害から暮らしを守るため、污水管とともに雨水施設も整備。

資源の有効利用：汚水の処理によって発生する下水汚泥等の資源、エネルギーを有効利用することで省エネ、リサイクル社会に貢献。  
と多々有しています。

また、中央浄化センター（終末処理場）は、いつでも気軽に見学ができますので、事前に下水道課まで連絡していただければご案内します。なお、下水道へのつながり込みや浄化槽からの切換えなどについてのご質問や要望等につきましてもご一報頂きたいと思います。

今回は当アンケートをきっかけに貴重なご意見を多数いただきまして有り難うございました。今回のご意見を参考に今後も下水道事業を進めて行きたいと思います。